



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月3日

上場会社名 株式会社日伝 上場取引所 東
コード番号 9902 URL <https://www.nichiden.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 福家 利一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 寒川 睦志 TEL 06-7637-7000
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|---------|------|-------|------|-------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年3月期第3四半期 | 100,008 | 5.7 | 4,826 | 6.0 | 5,248 | 4.7 | 3,524 | △4.1 |
| 2024年3月期第3四半期 | 94,659 | △4.6 | 4,553 | △7.2 | 5,012 | △6.5 | 3,677 | △1.7 |

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 2,744百万円 (△33.4%) 2024年3月期第3四半期 4,119百万円 (14.0%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期第3四半期 | 118.09 | — |
| 2024年3月期第3四半期 | 118.94 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年3月期第3四半期 | 123,584 | 85,099 | 68.9 |
| 2024年3月期 | 127,694 | 88,193 | 69.1 |

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 85,099百万円 2024年3月期 88,193百万円

(注) 中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | — | 0.00 | — | 65.00 | 65.00 |
| 2025年3月期 | — | 30.00 | — | — | — |
| 2025年3月期（予想） | — | — | — | 35.00 | 65.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|-----|-------|-----|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 134,000 | 5.6 | 6,100 | 5.0 | 6,500 | 1.1 | 4,700 | 0.5 | 157.86 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2025年3月期3Q | 30,886,000株 | 2024年3月期 | 30,886,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年3月期3Q | 1,361,372株 | 2024年3月期 | 482,636株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2025年3月期3Q | 29,848,343株 | 2024年3月期3Q | 30,916,484株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当四半期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当四半期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 4 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (会計方針の変更に関する注記) | 6 |
| (セグメント情報等の注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 6 |
| (企業結合等関係に関する注記) | 6 |

1. 経営成績等の概況

中間連結会計期間において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度に係る数値については暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、海外需要の減速を受け停滞感が強いものの、人手不足対策やデジタル関連の能力増強投資が下支えとなり、緩やかな回復基調が見られました。

当社グループを取り巻く機械器具関連業界におきましては、中国向けの輸出は減少したものの、半導体製造装置を中心に生産用機械等の増産により、設備投資は底堅く推移しました。また、脱炭素やDX、人手不足対応などに向けた省力化投資ニーズは旺盛な状況が続いております。

このような状況の下、2024年度を初年度とする第4次中期経営計画『New Dedication2026』～新たな貢献へ～を策定し、これまでに創り上げてきた「提供価値」と磨き上げてきた「商社機能」にサステナビリティの視点を加え、継続的な成長と持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めております。

具体的には、11月にグループ会社のエヌピーエーシステム株式会社と「国際粉体工業展東京」に共同出展いたしました。また、新たに生産工程のデジタル化、[DX]×[自動化]としてモビリティロボティクスをテーマに、各種AGV(無人搬送車)／AMR(自律走行搬送ロボット)の運行や関連設備との連携を実際に体験できる施設「&N LABO OSAKA EAST 2 SITE」を12月9日にオープンいたしました。さらに、12月27日にはTBグローバルテクノロジーズ株式会社から業務用搬送アシストロボットに関する事業を譲り受け、事業を展開することとなりました。ただし、現時点での業績への影響は軽微であります。

この結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高1,000億8百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益48億2千6百万円(前年同期比6.0%増)、経常利益52億4千8百万円(前年同期比4.7%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、35億2千4百万円(前年同期比4.1%減)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ41億1千万円減少し、1,235億8千4百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ24億6千7百万円減少し、824億円となりました。これは、現金及び預金が16億9百万円増加したものの、有価証券が35億7百万円、商品及び製品が7億4百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ16億4千2百万円減少し、411億8千4百万円となりました。これは、投資有価証券が16億3千2百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ10億1千5百万円減少し、384億8千5百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ5億6千4百万円減少し、301億2千2百万円となりました。これは、未払法人税等が5億1千3百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ4億5千万円減少し、83億6千3百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が6億6千2百万円増加したものの、自己株式の取得及び処分により自己株式が29億8千1百万円、その他有価証券評価差額金が8億2千1百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ30億9千4百万円減少し、850億9千9百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点では、2024年5月8日の決算発表時に公表いたしました連結業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 15,042 | 16,652 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 21,224 | 21,612 |
| 電子記録債権 | 21,373 | 21,230 |
| 有価証券 | 10,007 | 6,500 |
| 商品及び製品 | 16,409 | 15,704 |
| その他 | 815 | 703 |
| 貸倒引当金 | △4 | △4 |
| 流動資産合計 | 84,868 | 82,400 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 19,554 | 19,676 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 2,262 | 2,120 |
| 顧客関連資産 | 410 | 379 |
| その他 | 539 | 627 |
| 無形固定資産合計 | 3,211 | 3,127 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 18,730 | 17,097 |
| その他 | 1,329 | 1,282 |
| 貸倒引当金 | △0 | △0 |
| 投資その他の資産合計 | 20,059 | 18,379 |
| 固定資産合計 | 42,826 | 41,184 |
| 資産合計 | 127,694 | 123,584 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 11,153 | 11,345 |
| 電子記録債務 | 15,676 | 16,085 |
| 未払法人税等 | 1,120 | 606 |
| 賞与引当金 | 614 | 330 |
| その他 | 2,121 | 1,753 |
| 流動負債合計 | 30,686 | 30,122 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 90 | 95 |
| その他 | 8,724 | 8,267 |
| 固定負債合計 | 8,814 | 8,363 |
| 負債合計 | 39,501 | 38,485 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,368 | 5,368 |
| 資本剰余金 | 6,283 | 6,288 |
| 利益剰余金 | 70,147 | 70,810 |
| 自己株式 | △1,015 | △3,997 |
| 株主資本合計 | 80,783 | 78,468 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 7,182 | 6,360 |
| 為替換算調整勘定 | 228 | 269 |
| その他の包括利益累計額合計 | 7,410 | 6,630 |
| 純資産合計 | 88,193 | 85,099 |
| 負債純資産合計 | 127,694 | 123,584 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 94,659 | 100,008 |
| 売上原価 | 80,421 | 84,947 |
| 売上総利益 | 14,238 | 15,060 |
| 販売費及び一般管理費 | 9,684 | 10,233 |
| 営業利益 | 4,553 | 4,826 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 240 | 255 |
| 仕入割引 | 228 | 216 |
| 為替差益 | 73 | 72 |
| その他 | 116 | 136 |
| 営業外収益合計 | 658 | 681 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 118 | 113 |
| 固定資産処分損 | 3 | 71 |
| 自己株式取得費用 | 53 | 63 |
| その他 | 25 | 11 |
| 営業外費用合計 | 200 | 259 |
| 経常利益 | 5,012 | 5,248 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 459 | 13 |
| 固定資産売却益 | 6 | — |
| 特別利益合計 | 465 | 13 |
| 特別損失 | | |
| 役員退職慰労金 | 50 | — |
| 特別損失合計 | 50 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,427 | 5,262 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,576 | 1,623 |
| 法人税等調整額 | 174 | 113 |
| 法人税等合計 | 1,750 | 1,737 |
| 四半期純利益 | 3,677 | 3,524 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 3,677 | 3,524 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 3,677 | 3,524 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 330 | △821 |
| 為替換算調整勘定 | 111 | 41 |
| その他の包括利益合計 | 442 | △780 |
| 四半期包括利益 | 4,119 | 2,744 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 4,119 | 2,744 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループの事業は、動力伝導機器、産業機器、制御機器等の機械設備及び機械器具関連商品の販売及びその他の事業であります。その他の事業の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月8日開催の取締役会決議等に基づき、当第3四半期連結累計期間において自己株式885,245株の取得を行いました。これを含む自己株式の取得及び処分の結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2,981百万円増加したことにより、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が3,997百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれん及び顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び顧客関連資産償却額は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日) |
|-----------|--|--|
| 減価償却費 | 955百万円 | 935百万円 |
| のれんの償却額 | －百万円 | 141百万円 |
| 顧客関連資産償却額 | －百万円 | 30百万円 |

(企業結合等関係に関する注記)

企業結合に係る暫定的な会計処理の確定

2024年3月25日(みなし取得日2024年2月29日)に行われた株式会社アペルザとの企業結合について、前連結会計年度末において暫定的な会計処理を行っていましたが、中間連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、前連結会計年度末において暫定的に算定されたのれんの金額2,534百万円は、会計処理の確定により272百万円減少し、2,262百万円となっております。のれんの減少は、顧客関連資産が410百万円、固定負債のその他(繰延税金負債)が137百万円それぞれ増加したことによるものであります。

のれんの償却期間は12年、のれん以外の無形固定資産に計上した顧客関連資産の償却期間は10年であります。